

「川床」で優雅なお花見いかが

宇都宮・釜川 あす・明後日お目見え

宇都宮市の中心部を流れる釜川沿いで開催中の「釜川花まつり」で、

釜川が流れる二荒町と中央5丁目の一部区間に咲く

「川床」が登場する。

シダレザクラの魅力を伝えようと、市中心市街地の活性化などに取り組むNPO法人「宇都宮まちづくり推進機構」が企画した。

川床は、宇都宮大大学院



桜まつりに向けて設置が進められる釜川の川床—宇都宮市

の安森亮雄准教授の研究室の学生が設計。釜川の中に足場を組んだ上に板を据え付け、その上にこさを敷く。川の両側に計日本のシダレザクラが咲き誇る全長約30㍎、川幅約3㍎の区間に約90席分を設置。すぐ目の前にサクラが広がるという、いつもとは違う花見が味わえる。

川床が設置される2日間、周辺の飲食店や地域住民による模擬店が出店するほか、お茶会などでまつりを盛り上げる。同機構は「隠れた資源を生かして、釜川に多くの人が集まり、回遊してもらえ、きっかけになれば」と話す。

問い合わせは同機構（028・632・8215）へ。